



巻頭言

図書館を散策しよう

館長 親川 兼勇

ご入学おめでとうございます。自由な雰囲気の大
学生活に夢と希望をもって入学されたことをお喜
び申し上げます。大学は皆さんが期待していること
が叶えられるように学習や生活の支援を惜しみま
せん。大学生活は自由です。その分自身で考えなが
ら将来を展望しなければなりません。一人で静かに
考え、多くの知的な情報を吸収し、そして自己を形
成する場として附属図書館があります。大学の中央
部に位置し、学生が頻りに訪れる場所です。図書館
学から始まる総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、
技術・工学、産業、芸術・美術、言語、そして文学の順
に分けて、書架に並べてあります。それらの配架場
所は図書館に備えられているパソコンで簡単に検
索できますが、まずは書架を順路に沿って歩き、じ
かに手に取ってみることをお勧めします。先人の残
してくれた貴重な書籍がそこにあり、智の世界が広

がります。最新の研究は9000タイトルの電子ジャー
ナルがあり、ほぼ世界中の動向が分かります。いつ
も利用される百科事典、各種便覧などの参考図書、
比較的新しい図書、新着の雑誌などが自由に読め
る参考図書室や一般図書室があり、それぞれが十分
な広さを有し、座り心地の良い椅子が皆様を待っ
ています。その他にも資料室や教養図書などのコー
ナがあります。専門科目の他に、いろいろな書籍にふ
れることによって、思いやりや協調していこうとす
る心優しさが涵養されることでしょう。

同時に、引き継いだ美しい地球をつぎに残すこと
も忘れないでおきましょう。今、話題になっていま
す地球環境については、温暖化の原因の一つとして
考えられている温室効果ガスの削減が義務づけら
れた京都議定書が昨年発効しました。我が国がその
行動を主導するのです。夢を追い、真理追究に没頭

目次

- | | | | |
|---|----------------------|---|--------------------|
| 1 | 巻頭言 図書館を散策しよう | 7 | JICA研修生の図書館訪問について |
| 3 | 新生のための図書検索 | 7 | 中城中学校の調べ学習について |
| 4 | 主要な外国新聞記事の検索について | 7 | インターンシップ(就業体験)について |
| 5 | 電子ジャーナルバックファイル導入について | 8 | お知らせ |
| 6 | 琉球大学附属図書館貴重書展 | | |

しようにも地球に住んでいるのですからエネルギーと環境問題から逃れることはできません。ガソリンなどを使って車を走らせることや、電気に換えて通信機器など、いろいろな形でエネルギーは利用されています。豊かな生活を営むため、また、自らの文化と文明を融合させるためのものであり、非常に便利なものでありますが、現状はエネルギーを使いすぎ、エネルギー資源の枯渇問題や炭酸ガスの排出などによる地球規模の環境問題が起こり始めているのです。

沖縄では、主に石油や石炭などの化石燃料を使っています。太陽光や太陽熱、風力などの自然エネルギーも利用できますが、例えば、太陽光のように曇りや雨などの天候に左右されるなど、定常でないことや、エネルギー密度が小さいなどによって、工業的なエネルギーとしてはまだ一般的ではありません。しかし、最も安全なエネルギーの一つなので、効率的な材料の開発も含めて考えていく必要があるでしょう。一般に私達は化石燃料を燃やして高温の熱エネルギーにした後で用途に応じて必要な形にして使っています。それが何故、化石燃料の枯渇と環境問題とが注目され、問題視されるのでしょうか。エネルギーの大量消費を避けることが非常に大事なことであることは言うまでもありません。しかし、もし無駄なく効率的にさえ使っていれば、環境問題について悲観しなくて良いと言えるのでしょうか。化石燃料は主に炭素、水素から成っており、炭素が空気中の酸素と反応して燃える場合に、多くの炭酸ガスが発生します。太陽光の波長の短い可視光線などは炭酸ガスを通過し地球に到達し、地球を温めてくれますが、地球から放射する赤外線は炭酸ガスに吸収され、宇宙空間にあまり熱放射されず、さらに温度の高くなったガスの層より地球上に再放射されます。すなわち、温室の板ガラスのような働きをすることで、温室効果ガスと呼ばれます。炭酸ガスを多量に発生させることは、それが蓄積され続けていくということです。温室効果ガスは程良い温度を保つために本来なくてはならないものでありますが、過度に排出されているのです。

これらのことを、図書館を散策しながら考えてみましょう。図書館の受付カウンターのある2階西側に参考図書室があります。自然科学の書棚に理工学辞典があり、先の温室効果ガスや温室効果などの説明や、種々のガスが吸収する赤外線の波長域が示されています。さらに炭酸ガスだけではなく、温暖化

と同じように問題となっているオゾン層の破壊についても理解が深まるでしょう。3階の一般図書室には化学関係の新刊書があり、エネルギーがどのように変換されるかが書かれています。化石燃料を燃やすときにできる炭酸ガスの量や、さらに燃焼させるときに酸素を含んだ空気を与えますが、そのときに酸素の約4倍分の窒素がくっついており、その温度も上昇させるのにエネルギーが必要であり、それが効率よく使われないと、熱エネルギーへ換える効率が低くなることや、本来不活性のガスである窒素が高温ガス中に長く留まると、余分の酸素と反応して有害な窒素酸化物を生成してしまうことなどです。書架に行けば、関連したことがより詳しく知ることができます。生化学辞典で炭酸同化を調べてみると、生物が炭酸ガスを吸収して有機物に転化する働きのことを言うそうです。身近にある植物がどれぐらいの炭酸ガスを取り込むことができるか調べてみるとよいでしょう。

樹木には100メートルの高さにまで伸びるものもあるそうです。地中の水をその高さまでも吸い上げることができるし、それを蒸発させることによって周囲の温度を下げます。家の周囲に木々があれば涼しい風を送ってくれ、沖縄の夏を爽やかにさせ、ひいてはエネルギーの節約になります。植林などの基本的なことを通して、森や海の植物や生物を大事にすることが、環境を守ることになるのです。自然を大事に考えるということは、そのように地味な行為の積み重ねなのです。しかし、目標を掲げ、常に心掛けることで、達成されるのです。

図書館を再び訪れる際は順路をゆっくりと歩いてみましょう。参考図書室に「微・積分学辞典」を見つけてみましょう。その本には微・積の講義が待ち遠しくなるような4873の問題の一つ一つに精解が示されています。さらに都道府県ごとの100年史があります。それを手にすることによって郷土を愛する心がさらに強くなるかも知れません。歩き疲れたところに、日本文学にたどり着きます。耳にしたことのある作家の全集や、懐かしい文章があります。そして古典落語大系があります。先人たちの考え方、生活態度に新鮮な姿を見出し感激するでしょう。

図書館は皆さんの豊かな学園生活を喜びとしています。

(おやかわ けんゆう:工学部教授・伝熱促進)



新入生のための図書検索【基本の基本】



検索システム【蔵書OPAC】の利用法

① 蔵書OPACとは？

大学では自ら積極的に学習に取り組む必要があります。学習の参考となる図書等も自分で見つけなければなりません。図書館には92万冊以上の図書や学術雑誌があります。その中から自分が必要とするものを探し出すシステムが「蔵書OPAC」です。

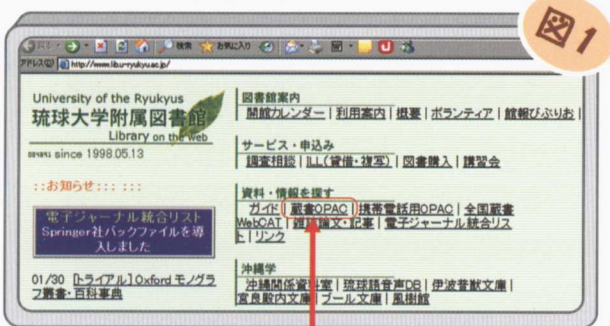
今回は図書を探すための基本中の基本【蔵書OPAC】の利用法をご紹介します。これから始まる大学生活でぜひご活用ください。

☺ 使い方は簡単、まずインターネットでホームページにアクセス ☺

図書館のホームページアドレスは<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>です。ここから図書や学術雑誌の検索をはじめ、図書館が提供する多彩なサービスが利用できます。(図書館カウンター前の検索用パソコンもご利用ください)

① スタート(図書館ホームページ)

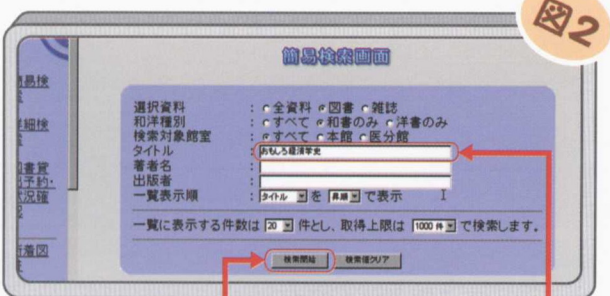
<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>



ここ「蔵書OPAC」をクリックします

② 蔵書OPAC(簡易検索画面)

「おもしろ経済学史」という本を検索する場合は、タイトルに「おもしろ経済学史」と入力して[検索開始]のボタンをクリックします。



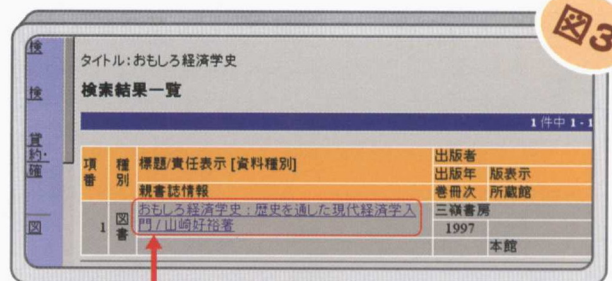
①「おもしろ経済学史」と入力
②検索開始をクリック

Hint

本のタイトルがわからない場合はキーワード(言葉)で検索します。例えば「沖縄の歴史について書かれた本」を検索する場合は「沖縄 歴史」と入力します。言葉と言葉の間に空白(スペース)を空けるのがコツです。

③ 蔵書OPAC(検索結果一覧画面)

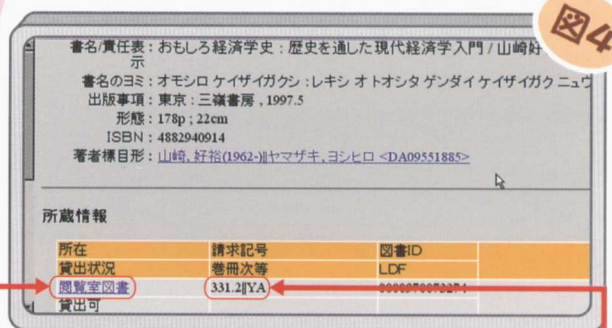
図書のタイトル等が表示されます



タイトルをクリック

④ 蔵書OPAC(図書詳細情報画面)

本のタイトルや著者名などの情報と、所蔵情報(本が置かれている場所)が表示されます。



①所在(本が置かれている場所)です。クリックすると地図が表示されます。

②請求記号(本の背ラベルに書かれている番号)です。本はこの番号順に本棚に並んでいます。

Hint

検索した本を手に入れるには①所在場所を地図で確認し、②請求記号と図書のタイトルをメモして本のある部屋へ行き本棚から取り出します。



請求記号(分類番号)

この背ラベルに書かれた請求記号(分類番号)の順に本は並んでいます。ちなみにこの請求記号(分類番号)は本の内容で分けているので、同じ場所に同じ内容の本が集まっています。

ご存知
ですか？

主要な外国新聞記事の検索について

Lexis.com は、法律情報データベースとして有名ですが、世界各国の主要な新聞記事を検索し本文(一部は抄録)まで入手できる、非常に有効な新聞記事データベースでもあります。

【主な収録紙】

- [米] New York Times (1980-), Washington Post (1977-), USA Today (1989-)
- [英] Times and The Sunday Times (1985-), Guardian (1984-), Financial Times (1982-)
- [仏] Le Figaro (1997-), Liberation (2000-), La Croix(1995-)
- [独] Neue Zürcher Zeitung (1993-), Frankfurter Rundschau (2003-), Die Welt (2004-)
- [日] Japan Times (1998-), Daily Yomiuri (1989-), Mainichi Daily News (1993-)

【利用方法】

利用例: New York Times の2006年1月17日の記事を見たい場合

1 図書館ホームページ(<http://www.lib-uryuky.ac.jp/>) からLexis.comへアクセス

図書館ホームページの[資料・情報を探す]>[雑誌論文・記事]から「データベース検索システム」の画面へ入り[●新聞記事]>[Lexis.com]をクリックしてください。

2 検索したいデータベースファイルを指定する
(2つの方法があります)

方法1) “Find A Source” タブで、新聞名で検索するか頭文字のアルファベットをクリック

各ファイル名の横にある i をクリックすると、その収録概要を確認できます。

表示されるリストから“New York Times”をクリック

方法2) “News & Business” タブの「News」フォルダーから選択する

「News」>「By Country & Region」とファイルを選択していくと地域別のファイル一覧が開く
「News」>「By Language」とファイルを選択していくと言語別のファイル一覧が開く

3 検索条件を入力し、Searchをクリック

例1) New York Times の2006年1月17日の記事
→ date is 1/17/2006 と入力し、Search をクリック

例2) New York Times の2006年1月17日に掲載された松井の記事
→ date is 1/17/2006 and matsui と入力し、Search をクリック

4 本文を読む


本文は、印刷、ダウンロード、ファックスまたはE-mailで送信することができます。
写真やグラフ等は収録されていません。

5 マニュアルとFAQ(よくある質問)

操作方法などについてのマニュアルやFAQを図書館ホームページの「データベース検索システム」のページに用意しています。どうぞご活用ください。

電子ジャーナルバックファイル導入について

Springer社が1996年までに発行した雑誌について、初号まで遡ってフルテキストを利用できるようになりました。対象タイトルは約800誌、古いもので1854年から収録されています。アクセスは図書館ホームページの「電子ジャーナル統合リスト」からどうぞ！検索方法は下記の図のように4つあります。



Electronic Journals

琉球大学電子ジャーナル統合リスト

News == 新規追加: Springer社バックファイル

検索方法① Findボックスで雑誌名から検索
(*で前方一致検索)
例) Cell and Tissue Research → cell tis* res*

検索方法② Titlesタブでアルファベット順の雑誌名一覧から
利用したい雑誌の頭文字を選択して一覧表示します。
件数が多い場合はプルダウンで目的の箇所にジャンプ。

1. "JAAPA : journal of the America" to "Journal of Agronomy and Crop S"

2. "Journal of Air Transport Manag" to "The Journal of biological chem"

3. "Journal of biological inorgan" to "Journal of Clinical Virology"

4. "Journal of Cluster Science" to "The Journal of Eccelesiastical "

5. "The Journal of Ecology" to "Journal of Financial Services "

6. "Journal of Financial Stability" to "Journal of Industrial Microbio"

7. "The Journal of Industrial Rela" to "Journal of Marketing Channels"

8. "Journal of Marketing Research;" to "Journal of Neuroimmunology"

検索方法③ Searchタブで雑誌名, 出版社, ISSNから検索

Refine Search

"Cell and tissue research" to "Cell and tissue research" ▼

Find: cell tis* res*

Advanced search

検索方法④ Indexタブでサービス名Springer Online Archives CollectionのView Titles から

Cell and tissue research

Springer Online Archives Collection 1924 - 1996

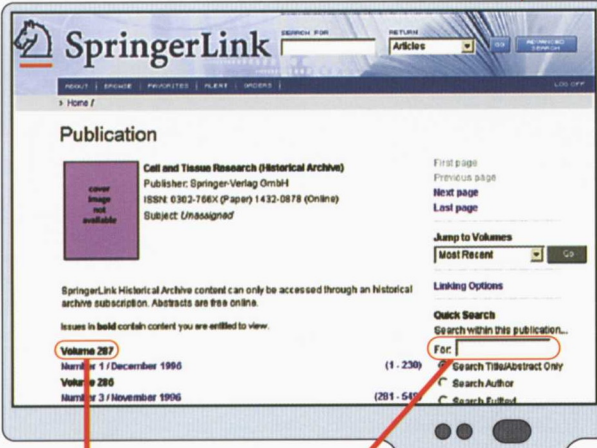
SpringerLINK 1997 to present

ISSN: 0302-766X Online ISSN: 1432-0878

Publisher: Springer-Verlag Germany

Subject: Natural History, Biology

利用するには
青字のサービス名Springer Online Archives Collectionをクリックすると、電子ジャーナルのページが別画面で開きます。
(カレントファイルの場合は Springer LINK をクリックします)



Publication

Cell and Tissue Research (Historical Archive)

Publisher: Springer-Verlag GmbH

ISSN: 0302-766X (Paper) 1432-0878 (Online)

Subject: Unassigned

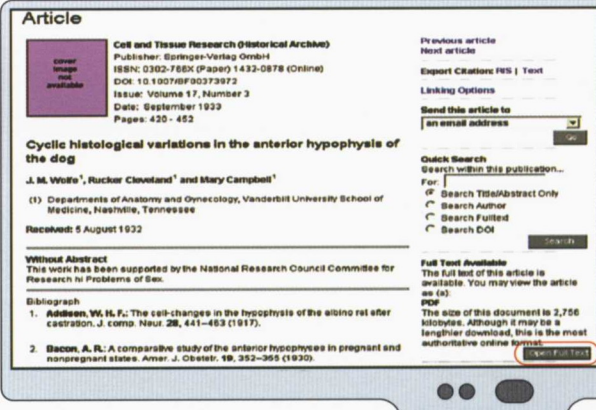
SpringerLink Historical Archive content can only be accessed through an historical archive subscription. Abstracts are free online.

Issues in bold contain content you are entitled to view.

Volume 287	Number 1 / December 1996	(1 - 230)
Volume 286	Number 3 / November 1996	(281 - 540)

Quick Search Search within this publication...

For: Search Title/Abstract Only Search Author Search Fulltext



Article

Cell and Tissue Research (Historical Archive)

Publisher: Springer-Verlag GmbH

ISSN: 0302-766X (Paper) 1432-0878 (Online)

DOI: 10.1007/BF00373972

Issue: Volume 17, Number 3

Date: September 1932

Pages: 420 - 452

Cyclic histological variations in the anterior hypophysis of the dog

J. M. Wolfe¹, Rucker Cleveland¹ and Mary Campbell¹

(1) Departments of Anatomy and Omeceology, Vanderbilt University School of Medicine, Nashville, Tennessee

Received: 5 August 1932

Without Abstract
This work has been supported by the National Research Council Committee for Research in Problems of Sex.

Full Text Available
The full text of this article is available. You may view the article as a PDF. The size of this document is 2,756 kilobytes. Although it may be a lengthy download, this is the most authoritative online format.

見たい巻号をクリックする、もしくは論文を検索します。

Open Full Textをクリックすると全文を入手できます。

「琉球・沖縄の歴史と文化を語る多彩な資料」
—糸満市立中央図書館と連携して開催—

琉球大学附属図書館は一般市民への資料の公開、地域貢献・地域連携の一環として、毎年学外で貴重書の展示会を行っています。平成17年度は、平成17年10月25日(火)から30日(日)までの6日間、沖縄本島南部にある糸満市立中央図書館と連携して「琉球大学附属図書館貴重書展「琉球・沖縄の歴史と文化を語る多彩な資料」」を開催しました。

これまで学外で行ってきた貴重書展は5回目を数えますが、公共図書館と連携して行ったのは平成15年度の名護市立図書館、平成16年の西原町立図書館での開催に続き3回目となります。本学が日頃貴重書扱いし、保存上の理由で一般閲覧が困難な古文書を始めとする資料を地域の方々に広く公開することがこの展示会の目的です。

今回のテーマに沿って展示した資料(史料)は下記の30点でした。

1. 仲吉本『おもろさうし』(伊波普猷文庫)
2. 遺老説伝(伊波普猷文庫)
3. 聞得大君加那志様御新下日記(伊波普猷文庫)
4. 琉球国中碑文記(伊波普猷文庫)
5. 佐銘川大めし由来記(伊波普猷文庫)
6. 他村仕明地・旧地頭地・百姓地叶掛地貢租収入帳/嘉数村(原忠順文庫)
7. 断片綴(針竿関係)(島袋源七文庫)
8. 山野畑地割帳(島袋源七文庫)
9. 諸抱護諸木植付日記(島袋源七文庫)
10. 仕明請地帳(島袋源七文庫)
11. 沖縄県下各町村字並屋取調(伊波普猷文庫)
12. 行政区画整備(案)(原忠順文庫)
13. 模合帳(一)(仲原善忠文庫)
14. 模合帳(二)(仲原善忠文庫)
15. 沖縄県各地方間切下知役検者姓名簿(原忠順文庫)
16. 尚姓家譜(仲原善忠文庫)
17. 東汀随筆/喜舎場朝賢[著](伊波普猷文庫)
18. 琉球使録/陳侃[著](伊波普猷文庫)
19. 中山伝信録 巻1~6/徐葆光[著](伊波普猷文庫)

20. 琉球国志略 巻1~16/周煌[著](仲原善忠文庫)
21. 四知堂詩稿 全3巻/楊文鳳[著](仲原善忠文庫)
22. 師竹斎詩集 全14巻/李鼎元[著]
23. 輿地図
24. 沖縄志
25. 明治期写真帳
26. 琉球裂/大道弘雄[著]
27. 薩摩風土記
28. 四十二国人物図説(万国人物図)/西川如見[撰]
29. 漂到琉球国記(宮内庁書陵部蔵)
30. 琉球風俗図

今回は特に会場が糸満市ということもあり、沖縄南部に関わりのあると思われる資料も選択したのが特徴です。

このほか毎回好評を博している「大正期の沖縄—E.R.プールのガラス写真—」パネル展示や「琉球大学の歩み」のビデオ上映・パネル展示、沖縄学研究者のパネル展示、琉球大学が進めている電子化資料を閲覧できるパソコンを設置しました。

貴重書展は平成16年度から研究開発室に設置された「貴重書の公開(貴重書展の企画)班」(室長=親川図書館長、室員=法文学部教授 池宮正治、法文学部教授 高良倉吉法文学部教授 上里賢一、法文学部教授 赤嶺守、教育学部教授 豊見山和行)を中心に行っています。室員は図書館職員が参加している附属図書館展示委員会の構成メンバーにもなっています。今回も室員が展示資料の選択、解説文、マスコミ対応を担当し、その他の作業(共催館との調整、パンフレット作成、ポスター作成・配布、キャプション作成、会場設営、広報など)は図書館職員が担当して行いました。糸満市立中央図書館には会場及び展示ケースの提供、糸満市広報での宣伝、地域公民館での宣伝等やってもらいました。

開催期間中は、NHK沖縄のテレビ放送や新聞での紹介もあって、約1200名の見学者があり、アンケートでは、日頃見ることの出来ない「琉球・沖縄の歴史と文化を語る」貴重な資料に触れる事が出来た、またやって欲しいといった喜びの声が多く寄せられました。

展示パンフレットの内容は図書館ホームページに掲載しています。

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/digia/tenji/index.html>

(松原敏夫・図書館専門員)



JICA研修生の図書館訪問について

平成17年9月12日(月)から11月11日(金)まで琉球大学農学部において国際協力機構の技術計画に基づきカンボジア、ガーナ、インドネシア、マダガスカル、パプアニューギニア、フィリピンからの研修生の受入れがありました。初日に「熱帯バイオマス利用コース」のJICA研修生6名と通訳1名、引率者1名合計8名の方の図書館への訪問があり、貸出窓口、情報検索コーナー、新着雑誌室及び雑誌書庫などを案内しました。

また、10月3日(月)から11月25日(金)までは、JICA沖縄によるカンボジア、他11ヶ国からの研

修生の受入れがあり、琉球大学において研修が行われました。初日に「教育者のためのIT研修コース」のJICA研修生12名と通訳1名、引率者1名合計14名の方の図書館への訪問があり、館内の利用案内をしました。



なか ぐすく

中城中学校の調べ学習について

平成17年9月20日(火)に中城中学校の1年生約30名と引率教師3名、父兄2名が沖縄関係資料の調べ学習のため来館しました。最初に検索端末による検索の方法を説明し、沖縄開架室の図書の配置を説明しました。いくつかのグループに分かれ、郷土の偉人や歴史、植物、動物などについて調べたいということで、検索したり、図書を探したり、ノートに調べたことを記入したりしてまじめに取り組んでいました。



インターンシップ(就業体験)について

附属図書館では、平成17年11月9日(水)から11日(金)の3日間浦添高校から就業体験の高校生2年生2名を受入れ、①カウンター業務 ②資料整理業務 ③図書・雑誌の受入れ業務④情報検索等の図書館の業務を体験して貰いました。

志望の動機として「インターンシップで体験し進路決定に役立てたい。」「実際に働いている人の話を聞いてみたい、体験してみたい」との希望を持っており、大変意欲的で、まじめな態度で実習に取り組んでいました。最後に「一つ一つの仕事の流れが少しわかってきた。思っていたより細かい作業が多く大変な仕事だと思った。この経験はこれからの進路決定に役立てたいと思います。」「図書館の仕事は貸出と返却がメインだと思ったが、それは一部で他に

やる仕事の方が重大で、保存をするのも大切な仕事ということがわかりました。」との感想がありました。今回の体験で仕事は窓口だけでなく、いろいろな仕事がありそれぞれの仕事に関連していることが少し理解できたようです。普段の学校生活では経験できないことを実際の仕事をとおして体験する事ができ、有意義な高校生活を過ごしていることと思います。



お知らせ Information

2006年度 開館カレンダー

● 本館

4月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

● 医分館

4月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月 (2006年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

開館時間 黒(Black) 8:30~22:00

緑(Green) 10:00~20:00

青(Blue) 8:30~17:00

赤(Red) 休館(Close)

本館だより

第250回 平成17年10月5日

附属図書館運営委員会録

○協議事項

1. 琉球大学附属図書館研究開発室規定の改正について
2. 学術機関リポジトリについて

○報告事項

1. 図書館開館時間の拡大について
2. 2006年外国雑誌について
3. 図書館貴重書展について

新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。充実した大学生活をおくるために、図書館の活用法をガイドしますので、ぜひご参加ください。

開催日	4月6日(木)~12日(水)の毎日(土・日を除く)
開催時間	(午前) 11:00~11:30 (午後) 14:00~14:30 (午後) 15:00~15:30 (午後) 16:00~16:30
集合場所	本館 カウンター前
内容	図書館施設の案内と図書館活用法

予約等はいりません。3分前に集合してください。
問い合わせ先 | 電子情報係 (tel: 098-895-8167)

医分館だより

第57回 平成17年12月5日

医学部分館運営委員会録

○協議事項

1. 平成17年度(第3回)図書館備付け学生用図書の見直しについて

○報告事項

1. LWWコンソーシアム (fix 100) 契約の採用について
2. 耐震工事について
3. 非常ドア取替え工事について
4. 土曜・日曜・祝日開館の延長について

○協議事項

1. 2006参考図書(継続分)等の見直しについて
2. 平成17年度(第4回)図書館備付け学生用図書の見直しについて

○報告事項

1. Springer Online Archives Collectionの契約について
2. New England journal of medicine の電子ジャーナルについて

琉球大学附属図書館報「びぶりお」第39巻第1号(通巻第144号) 発行日:2006年(平成18年)4月1日

発行:琉球大学附属図書館 編集:びぶりお編集委員会

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL:098-895-8168 E-mail:referen@lib.u-ryukyu.ac.jp